



核の廃絶“アームズダウン”を訴える パリの国際会議に日本を代表して参加

先月、パリで開催された核廃絶を目指す国際会議「グローバルゼロ」の世界サミットに、日本を代表して出席しました。

「グローバルゼロ」は、カーター元米大統領、ゴルバチョフ元ソ連大統領らの呼びかけで、2020年までの核兵器廃絶協定の成立を目指す国際的な運動体です。

日本が核廃絶に主導的役割を

会議には世界各国から100名を超える参加者が集まりましたが、核保有国の関係者を中心に議論が進むように思われました。やはり核兵器を減らす当事者は保有国だからでしょうか（現在の核保有国は米国、ロシア、イギリス、フランス、中国、イスラエル、インド、パキスタン、北朝鮮の9カ国）。

日本のように北朝鮮の核の脅威に直面する国にとっては、核弾頭の廃絶とともに世界の核保有量をゼロにする方法を検討することが死活的に重要です。ただ、核保有国からの参加者が多いこの会議では、そうした視点からの意見は少ないように思います。

中国からの参加者も、核廃絶には総論として賛成しつつも、中国が現在保有する核については積極的に減らす意図はなく、国益を考慮した発言が目立ちました。

唯一の被爆国である日本が主導的役割を果たす必要性を改めて認識しまし



た。また被爆国だからこそ、できることがあるのではないのでしょうか。

アームズダウン・キャンペーンの重要性

総額140兆円にも上る全世界の軍事費の10%を削減し、そのお金を途上国の様々な問題や地球環境問題などに使うことで、国連の「ミレニアム開発目標」を達成しようという「アームズダウン・キャンペーン」に注目しています。

こうした活動を、唯一の被爆国である日本が率先して行うことに重要な意味があると思います。これを実現するためには5000万人という壮大な数の署名を集めなければなりません、活動

を続けることが大切です。活動を続ければこそ、目標を達成することができるのです。

「グローバルゼロ」では、最終日の2月4日、米ロ両国に保有核弾頭をそれぞれ千発に削減すること、他の核保有国にも核弾頭の製造を凍結することを訴えた共同声明を発表し、閉幕しました。「史上初めて核保有国による多国籍核削減交渉という新たな段階に道を開くことができた」との評価も聞かれました。

核兵器の廃絶までは遠い道のりかわかりませんが、こうした地道な努力を重ねることが、非武装・非暴力という、究極の目標を実現する唯一の道であると考えます。

国政活動報告

社団法人の視察とテレビ取材 (2009/11/06)

厚生労働省からの大量の天下りなど雇用保険の無駄遣いが問題となっている「東京都高齢期雇用就業支援コーナー」を政務調査し、その様子



が全国放映されました（TBS系列「総力報道! THE NEWS」）。もっとも、先方の責任者とじっくり議論したのはカメラの届かないところ。その様子は放映されませんでした。明らかになった問題点は、参議院決算委員会の理事として、委員会審議の場で取り上げ、改善します（11月17日の決算委員会で本件に関し質疑を行いました）。

韓国の国会議員団と岡田外相を訪問 (2009/11/13)



日本と韓国間の議員交流は、政権交代後一段と活発になっています。この日は韓国で将来の大統領候補と目される著名な国会議員から直接依頼を受け、岡田外務大臣との会談を

実現。日韓関係と世界の将来に話が及びました。

事業仕分け (2009/11/17)

国の事業を取り上げ精査する「事業仕分け」。風間も決算委員会理事として会場に赴き、事業の中身を査定しました。特に、決算委員会で審議対象となる事業の仕分けには、マスコミも注目。当該事業の仕分け終了後、テレビ局から決算委員会における対応について取材を受けました。



国会にて災害対策要請 (2009/12/18)

海岸侵食に伴う深刻な越波被害などを視察したその翌日、国会に戻ると直ちに高嶋良充参議院幹事長、三日月大造国交

大臣政務官と面会しました。視察で得た現場の実態報告を詳細に行い、問題意識を共有して頂くとともに、国としてなすべき今後の対策をじっくりと協議しました。



EU 気候変動対策セミナーに出席 (2010/3/3)

EU主催の気候変動対策セミナーに出席し、来日中のルンゲ欧州委主席交渉官のほか、日本政府の責任者らと意見交換を行いました。日本では今国会で地球温暖化対策基本法を審議



する見通しですが、制度や意識の面で先行する欧州の経験を参考にしつつ、世界の温暖化対策を主導していく態勢を整えて参ります。

上越教会国会見学 (2010/3/4)

上越教会の皆さんが国会見学にいらっしゃいました。いつも教会でお会いする方々と国会でお会いすることができて、大変嬉しく思いました。国会議事堂は階段も多く、歩いての移動は結構大変なのですが、皆さんお元気で安心しました。また当日は白眞勲議員にも同行いただき、議場の説明や質疑応答に応じていただきました。

